

再認証試験の流れ(概要) <受験申請から資格証明書取得まで>

資格証明書の有効期限が2017年9月30日(発効年月日から10年目)以降の方は、JIS Z 2305:2013による認証制度に基づく再認証試験を受験する必要があります。以下は、再認証試験の概要をわかりやすくするため、細かい説明を省略し日程も目安として記載してあります。再認証試験は、資格証明書を保持するための大事な試験です。受験申請にあたりましては、必ず、本書の③で列記した各書類の説明をご覧になり、内容をご理解のうえ受験申請を行ってください。※再認証試験日程表は該当する最新のもので確認を行ってください。

なお、本書の後ろから2頁には、有効期限別の全体スケジュール(概要)を掲載しています。併せてご覧ください。



JIS Z 2305:2013による認証制度の変更により**受験申請機会は1回※¹のみです**。受験申請受付期間に手続きを行わないと再認証試験及び再認証再試験の機会も失い、資格証明書に記載の有効期限にて資格証明書を失効することになります。十分にご注意ください。

※¹ 受験申請の機会は1回ですが、受験申請された方の試験の機会は、約半年の間に3回(再認証試験1回、再認証再試験2回)あります。

資格証明書の有効期限は資格証明書保持者にて管理をお願いしています。認証事業本部でも皆様が資格を失効しないように、ご登録の住所へ案内を送付するサービスを行いますが、書類が届かない等による不利益は認証事業本部の責務外となります。**受験申請期間に注意のうえ、書類が届かない場合は早めに問合せを行って下さい。**

一般社団法人日本非破壊検査協会 認証事業本部

再認証試験に関する主な変更点

JIS Z 2305:2001 ⇒ JIS Z 2305:2013

※下記は主な変更点であり、詳細については各案内を必ず参照のこと。

項目	JIS Z 2305:2001	JIS Z 2305:2013
受験申請書類	専用の受験申請書類が登録されている住所へ送付される。	専用の受験申請書類が登録されている住所へ送付される。 (変更なし)
	資格証明書有効期限の管理は資格保持者が各自管理する事項であるが、登録住所への送付案内はサービスとして行う。書類が到着しない場合は受験申請期間前に各自で問合せを行う。(変更なし)	
受験申請の機会	資格証明書有効期限の約2年前から半年毎に1回 計 4回	資格証明書有効期限の約1年前に1回のみ 計 1回 1回の申請が、試験の機会(計3回分)となる。
試験の機会	再認証試験 4回 計 4回 資格証明書有効期限の約2年前から約半年前まで1年半の期間に4回実施	再認証試験 1回 再認証再試験 2回 計 3回 資格証明書有効期限の約7か月前から約1か月までの約6か月の期間に3回実施 再認証再試験の実施地区は東京と大阪の2地区のみ
試験内容	レベル1:筆記試験	レベル1:実技試験
	レベル2:筆記試験	レベル2:実技試験
	レベル3:筆記試験	レベル3:筆記試験 (変更なし)
資格継続調査	再認証試験に合格した者を対象に再認証試験後に実施。	再認証試験の受験申請時にあわせて実施。
レベル3の受験申請添付書類	—	「実技能力の確認書類」の添付必須
レベル3をクレジットシステムで受験申請する場合	・受験申請後に審査書類を提出 ・必要ポイントは、20ポイント以上	・受験申請書と一緒に審査書類を提出 ・必要ポイントは、70ポイント以上

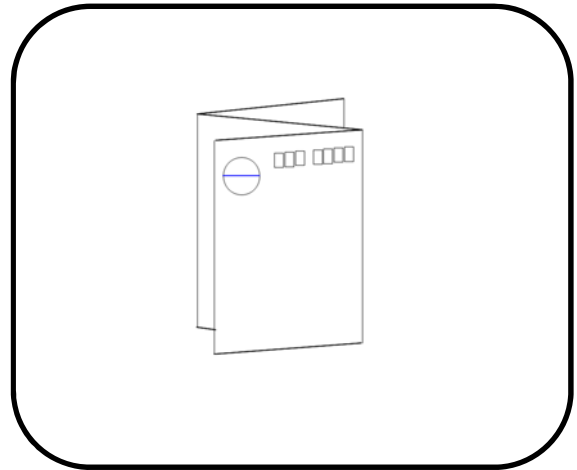
1 JSNDI から当該期の再認証該当者（の登録住所）へはがきを送ります。

書類発送時期

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX（-1年前の）年7月頃
20XX年3月31日の方は、20XX（-1年前の）年1月頃

[例えば資格証明書の有効期限が2017年9月30日の方は、2016年7月頃発送します。]

(1) 再認証試験のお知らせ（圧着はがき）



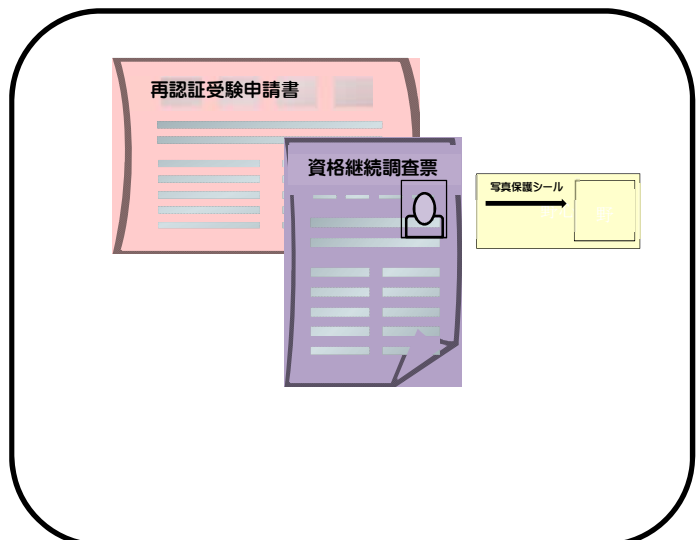
該当期期になりましても「はがき」が届かない方は、登録住所の変更を忘れていませんか？
至急、登録データの変更を行ってください。

2 JSNDI から再認証受験申請書類を送ります。

書類到着時期

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX（-1年前の）年9月頃
20XX年3月31日の方は、20XX（-1年前の）年3月頃

- (1) 再認証受験申請書
- (2) 資格継続調査票
- (3) 写真保護シール
資格継続調査票に貼付する顔写真用



3 再認証受験申請に関する各書類を読んでください。

協会HPに掲載してある各コンテンツの書類を読んで、再認証試験に関する内容を確認してください。

項番	内 容	HP コンテンツ No.	対象者
(1)	再認証試験日程表	SA2	レベル1、レベル2 レベル3
(2)	資格試験実施案内（再認証）	EB1-2	レベル1、レベル2 レベル3
(3)	再認証受験申請書 レベル1 & 2専用記入要領	EB1-3	レベル1、レベル2
	再認証受験申請書 レベル3専用記入要領	EB1-4	レベル3
(4)	資格継続調査実施案内 （資格継続調査票の記入要領）	EB1-5	レベル1、レベル2 レベル3
(5)	レベル3実技能力の 確認書類について	EB3	レベル3
(6)	レベル3クレジットシステム案内	EB2	レベル3 でクレジット申請する場合のみ

4 再認証受験申請書の記入を行ってください。

『(EB1-3) 再認証受験申請書レベル1 & 2専用記入要領』

『(EB1-4) 再認証受験申請書レベル3専用記入要領』

を参照してください。



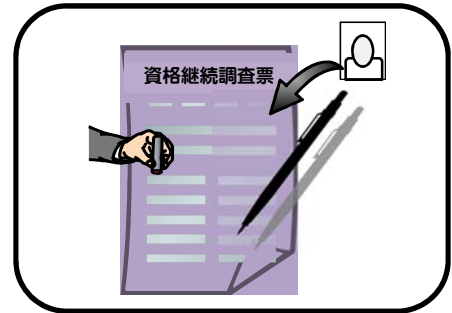
再認証受験申請の際に、再認証再試験(1回目、2回目)の受験地区も記入していただきます。再認証再試験の実施地区は東京と大阪の2地区のみとなります。

レベル 試験内容	再認証試験の 受験地区	再認証再試験の受験地区	
		1回目	2回目
レベル1、レベル2 実技試験	新規（二次）試験と同じ 実施地区 但し、北海道におけるUTの再 認証試験のみ「千歳」→「札幌」 となります。	東京、大阪	東京、大阪
レベル3 筆記試験	新規（一次）試験と同じ 実施地区	東京、大阪	東京、大阪

← 約6か月の間に3回の試験機会 →

5 資格継続調査票の記入を行ってください。

『(EB1-5) 資格継続調査実施案内』を参照してください。



顔写真(縦 30mm×横 24mm)が1枚必要です。ここで、貼付した顔写真がデータ登録され、再認証試験合格後の資格証明書の顔写真となります。5年間使用するものなので、状態の良い写真を使用してください。

※再認証試験の際に使用する受験票に貼付する顔写真は、2枚必要となります。資格継続調査票に貼付した顔写真と同じものを使用してください。この時点で**顔写真は3枚準備**して、**2枚は受験票が届くまで手元に保管**しておいてください。

6 レベル3の方のみ 実技能力の確認書類の準備を行ってください。

『(EB3) レベル3実技能力の確認書類について』を参照してください。

次の(1)から(4)のうち、いずれかひとつを選択し準備する。

- (1) 実務経歴書
- (2) 実技能力を証明するレポート
- (3) レベル2資格証明書保持 ※レベル2資格証明書のコピー
- (4) レベル2資格試験合格 ※新規認証申請書をコピー



(1)～(4)については、『JIS Z 2305:2013「非破壊試験技術者の資格及び認証」(レベル3用)実技能力の確認書類<表紙>』に雇用責任者の証明が必要です。

(1)又は(2)を選択した場合には、次に該当する第三者(資格保持者)のいずれかの証明も必要となります。※受験者本人が第三者となることはできません。

- ・レベル3資格保持者(申請 NDT 方法以外でも可)
- ・申請する NDT 方法のレベル2資格保持者

7 レベル3の方でクレジット申請する場合のみ クレジットシステムの申請書類の準備を行ってください。

『(EB2) レベル3クレジットシステム案内』を参照してください。

8

受験申請書類一式を簡易書留で JSNDI へ郵送してください。

受験申請受付時期

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX（-1年前の）年10月初旬頃〈春期試験〉
20XX年3月31日の方は、20XX（-1年前の）年4月初旬頃〈秋期試験〉

受験申請書類	封筒サイズ
<p>レベル1、レベル2の方で申請数1件の方</p> <p>(1) 受験申請書 (2) 資格継続調査票</p>	<p>長3封筒以上</p> <p>120mm×235mm以上</p>
<p>レベル1、レベル2の方で1つの封筒で複数件申請の方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人で複数のNDT申請を行う場合 ・会社で複数の申請者の書類を纏めて申請する場合 <p>(1) 受験申請書 (2) 資格継続調査票</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>封入の際、各受験者のNDT方法・レベル毎に(1)、(2)を透明ファイル（クリアフォルダ）又はクリップ留めし、書類が混在しないようにする。</p> </div>	<p>角2封筒以上</p> <p>240mm×332mm以上</p>
<p>レベル3の方</p> <p>(1) 受験申請書 (2) 資格継続調査票 (3) 実技能力の確認書類</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>封入の際の申請件数に関わらず、各受験者のNDT方法・レベル毎に(1)～(3)を透明ファイル（クリアフォルダ）又はクリップ留めし、書類が混在しないようにする。</p> </div>	<p>角2封筒以上</p> <p>240mm×332mm以上</p>
<p>レベル3の方でクレジット申請する場合</p> <p>(1) 受験申請書 (2) 資格継続調査票 (3) 実技能力の確認書類 (4) クレジットシステム申請書類</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>封入の際の申請件数に関わらず、各受験者のNDT方法・レベル毎に(1)～(4)を透明ファイル（クリアフォルダ）又はクリップ留めし、書類が混在しないようにする。</p> </div>	<p>角2封筒以上</p> <p>240mm×332mm以上</p>

※ 受付締め切り日時以後の受験申請は受付ができません。（消印有効ではありませんので、十分に注意をしてください。）締切日の直前に郵送手続きされた書類については、書留速達を使用されても期日までに到着する保証はありません。申請は余裕を持ち、締切日に近い郵送については期日指定配達等のご利用も検討ください。



受験申請の受付速報を⑨で掲載しますが、確認には記入後の受験申請書のコピーが必要です。郵送前に必ずコピーを取り、控えとして保管してください。

9 受験申請受付速報をHPへ掲載します。申請内容を確認してください。

掲載時期

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX（-1年前の）年11月下旬頃〈春期試験〉
20XX年3月31日の方は、20XX（-1年前の）年5月下旬頃〈秋期試験〉

※確認には、受験申請書のコピーが必要です。

10 JSNDI から受験票を送付します。到着書類を確認してください。

送付時期

レベル1、レベル2

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX年1月上旬頃〈春期試験〉
20XX年3月31日の方は、20XX（-1年前の）年7月上旬頃〈秋期試験〉

レベル3

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX年3月中旬頃〈春期試験〉
20XX年3月31日の方は、20XX（-1年前の）年9月中旬頃〈秋期試験〉

実技試験	筆記試験
レベル1、レベル2 (1) 再認証試験受験票 (2) 受験料払込用紙 (3) 実技試験実施案内 (4) 会場案内図	レベル3 (1) 再認証試験受験票 (2) 受験料払込用紙 (3) 会場案内図



レベル1、レベル2 上表の(1)(3)(4)は、再認証再試験でも使用します。

レベル3 上表の(1)は、再認証再試験でも使用します。

※再発行はしませんので、当該期の試験が完了するまでは廃棄せず保管してください。

11 再認証試験を受ける。

試験時期

レベル1、レベル2

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX年1月～3月〈春期試験〉
20XX年3月31日の方は、20XX（-1年前の）年7月～9月〈秋期試験〉

レベル3

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX年3月下旬〈春期試験〉
20XX年3月31日の方は、20XX（-1年前の）年9月下旬〈秋期試験〉

12 ⑪の再認証試験が不合格の場合、再認証再試験1回目を受験する。

※結果通知と一緒に、再認証再試験1回目の受験料払込用紙を同封します。

試験時期

レベル1、レベル2

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX年5月～6月 《春期試験》
20XX年3月31日の方は、20XX(-1年前の)年11月～12月 《秋期試験》

レベル3

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX年5月～6月 《春期試験》
20XX年3月31日の方は、20XX(-1年前の)年11月～12月 《秋期試験》

13 ⑫の再認証再試験1回目不合格の場合、再認証再試験2回目を受験する。

※結果通知と一緒に、再認証再試験2回目の受験料払込用紙を同封します。

試験時期

レベル1、レベル2

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX年7月～9月 《春期試験》
20XX年3月31日の方は、20XX年1月～3月 《秋期試験》

レベル3

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX年7月～9月 《春期試験》
20XX年3月31日の方は、20XX年1月～3月 《秋期試験》



再認証再試験2回目を不合格となった方の資格証明書は、お手持ちの有効期限にて失効となります。再度、資格取得を希望される場合は、新規試験となり、新規試験に必要な条件が課されます。過去に資格を保持していたことによる特典や免除事項はありません。

14 ⑪ ⑫ ⑬の試験で合格した方へ新しい資格証明書を発送します。



発送時期

資格証明書の有効期限：20XX年9月30日の方は、20XX年9月下旬までに発送
20XX年3月31日の方は、20XX年3月下旬までに発送




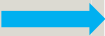
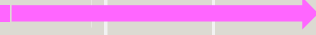






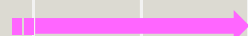



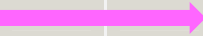

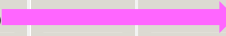

但し、再認証再試験2回目の合格者につきましては、お手元に資格証明書が届くのが発効日(資格証明書有効開始日)以降となる場合もありますので、予めご承知おきください。



以上

JSNDI: 
 再認証試験該当者: 


資格証明書の有効期限： 20XX年9月30日の方

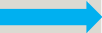
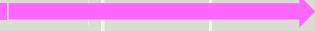






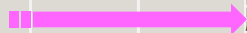






	①～⑭ 丸数字は本文中の番号	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
1	① お知らせ葉書を発送する																		
2	③ HP掲載の再認証受験申請書類を読む																		
3	② 受験申請書類を発送する																		
4	④ ⑤ ⑥ ⑦ 受験申請書類を記入する																		
5	⑧ 簡易書留で受験申請書類を発送する																		
6	⑨	受験申請内容を審査し、受理した申請の受付速報をHPへ掲載する																	
7		HPに掲載された申請の受付速報の内容と自分の申請内容を確認する																	
8	レベル1、レベル2			⑩ レベル1、レベル2へ受験票類を発送する															
9	⑪ 振込期限までに受験料を払い込み、JSNDIから指定された日時に再認証試験(実技試験)を受験する																		
10	レベル3			⑩ レベル3へ受験票類を発送する															
11	⑪ 振込期限までに受験料を払い込み、JSNDIから指定された日時に再認証試験(筆記試験)を受験する																		
12																	再認証試験結果を発送する		
13	⑫ 再認証試験が不合格の場合、振込期限までに受験料を払い込み、JSNDIから指定された日時に再認証再試験1回目を受験する																		
14																		再認証再試験1回目の結果を発送する	
15	⑬ 再認証再試験1回目不合格の場合、振込期限までに受験料を払い込み、JSNDIから指定された日時に再認証再試験2回目を受験する																		
16	⑭ 再認証試験(再試験含む)合格者に新しい資格証明書を発行する																		

JSNDI: 
 再認証試験該当者: 

資格証明書の有効期限： 20XX年3月31日の方



	① ~ ⑭ 丸数字は本文中の番号	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	① お知らせ葉書を発送する																
2	③ HP 掲載の再認証受験申請書類を読む																
3	② 受験申請書類を発送する																
4	④ ⑤ ⑥ ⑦ 受験申請書類を記入する																
5	⑧ 簡易書留で受験申請書類を発送する																
6	⑨	受験申請内容を審査し、受理した申請の受付速報を HP へ掲載する															
7		HP に掲載された申請の受付速報の内容と自分の申請内容を確認する															
8	レベル1、レベル2			⑩ レベル1、レベル2へ受験票類を発送する													
9	⑪ 振込期限までに受験料を払い込み、JSNDI から指定された日時に再認証試験(実技試験)を受験する																
10	レベル3			⑩ レベル3へ受験票類を発送する													
11	⑪ 振込期限までに受験料を払い込み、JSNDI から指定された日時に再認証試験(筆記試験)を受験する																
12																	
13	⑫ 再認証試験が不合格の場合、振込期限までに受験料を払い込み、JSNDI から指定された日時に再認証再試験1回目を受験する																
14																	
15	⑬ 再認証再試験1回目が不合格の場合、振込期限までに受験料を払い込み、JSNDI から指定された日時に再認証再試験2回目を受験する																
16	⑭ 再認証試験(再試験含む)合格者に新しい資格証明書を発行する	